N, N-ジメチルヒドラジン測定分析法(ばく露実態調査で採用した方法)

構造式(CH₃)₂NNH₂ CASN₂: 57-14-7

許容濃度等:ACGIH 0.01ppm (TLV-TWA) 物性等
OSHE 0.5ppm (PEL) 分子量: 60.1
比重:0.8
沸点:63℃
融点:-58℃

別名

サンプリング 分析 **サンプラー**: 37mm φ 硫酸含浸グラスファイバ 分析方法:高速液体クロマトグラフ/フォトダイオーアレイ法 (機器名: Agilent HPLC1100 シリーズ) ーフィルター(SKC 225-9012) サンプリング流量:1.0L/min 抽出方法:超純水 5mL、振とう器にて 30 分 サンプリング時間:10min~ 間撹拌。その後、10分間、2000rpm で **採気量:**10L以上 遠心分離。抽出液 1mL をバイアルに移 保存性:捕集後7日目までで85%以上 した後、フルフラール水溶液(2% ブランク:検出せず V/V)0.5mL を加え、混合後室温にて 2 時間以上放置。 検出器:フォトダイオードアレイ検出器 カラム: Mightysil RP-18 GP 150-2.0(3µm) 移動相: アセトニトリル/水=20/80(V/V%) 精度 流量: 0.1mL/min 回収率 試料導入量:10µL 添加量 0.78μg で 89% 波長:300nm 添加量 11.70μg で 94% **検量線**:超純水で 1/10000 に調整したものを 定量下限(10σ) 標準原液とする。 $0.026\mu g/mL$ フィルターより溶出する硫酸と同じ 0.0054ppm (採気量 10L) 濃度(1.5µL/mL)に調整した硫酸溶

0.0001ppm (採気量 480L) 液 5mI 準原液 0μg/

定量法: 絶対検量線

 $3.00 \mu g/mL$

適用

妨害

[※]本方法は、各種文献を参照の上、中央労働災害防止協会にて策定したものである。